

# 新・奥の細道

山形西ルート

⑥

玉虫湖畔と民話の里を訪ねるみち

Tamamushi-kohan-to-minwa-no-sato-o-lazuneru-michi



山形県

# GUIDE

みどころ案内

山辺西部湖畔自然休養村の中心である玉虫沼一帯は、玉虫湖畔荘・玉虫森林公園・湖畔の遊歩道などが整備され、ハイキングやキャンプ、ヘラブナ釣りなど手軽に四季折々の自然を満喫できます。作谷沢民話の里は自然豊かな山里で、美しい自然と共存して祀られている数多くの石仏や民話が残されています。素朴な「まんだらの世界」の信仰と文化を肌で感じることができるコースです。

## 玉虫沼

Tamamushi-numa



玉虫沼

ヘラブナ釣り

閑静な山あいにある玉虫沼は、宝徳3年(1451年)高橋城主武田信安公が築堤した、東北でも珍しいアーチ型土堤のため池です。ヘラブナ釣りのメッカとして全国的に有名で、多くの太公望が釣り糸を垂れます。

豊かな自然とともに語りつかれてきた「玉虫姫」の悲しい物語が、伝説として残されています。

### ◎玉虫姫

昔々のこと、山野辺のお城に玉虫と呼ばれる美しい娘が奉公していました。玉虫の炊くご飯はじゃこの香りがして、それはそれはおいしいのでした。実はご飯を炊くとき、母からもらった白蛇を入れて炊いていたのです。

お殿様や奥方様は、玉虫をたいそうかわいがりました。しかし、前からいた女中はねたましく思っていたのです。

ある夏の日のこと、にわか雨が降りだしたので、玉虫は急いで洗濯物を取り込もうと台所を離れた。そのすきに、女中が歯蓋の蓋を開けてしまったのです。中を覗いてびっくり。なんとそこには白蛇がとくろを巻いているではありませんか。城中が大騒ぎになりました。

玉虫はお城にいたことができなくなりました。その夜、お城をこっそり抜け出すと、山へと歩いて行きました。どのくらい歩いたのでしょうか。そこには美しい沼がありました。玉虫は沼に身を投げました…。

今でも、玉虫の命日(8月13日)の早朝に玉虫沼を訪れると、澄んだ湖の底に落ち葉を掃き集める玉虫の姿を見ることができ、涙雨が降るといわれています。

## 玉虫湖畔荘

Tamamushi-kohan-so

玉虫湖畔には、山辺西部湖畔自然休養村管理センター「玉虫湖畔荘」があります。地元玉虫高原で飼育した、サフォーク種の生ラム肉ジンギスカン料理や、郷土料理の数々が味わえ、宿泊・会合・家族づれなど低料金で気軽に利用できます。

毎年10月の第1日曜日は、玉虫高原サフォーク「ジンギスカンまつり」が開催され、大勢の人でにぎわっています。

◆お問い合わせ/玉虫湖畔荘 ☎0236-66-2022



玉虫湖畔荘

ジンギスカンまつり

## 作谷沢民話の里(まんだらの世界)

Sakuyazawa minwa-no-sato

作谷沢民話の里は、白鷹丘陵の最高峰・白鷹山(標高994m)の山ふところに位置する緑豊かな山里です。高冷地の自然条件を活かした、町の花リンドウや清流を使ったワサビ栽培などが盛んです。

この地は、山・川・樹木・石などの自然に対して、日々のおだやかな暮らしを祈った、庶民信仰の里でもあります。美しい自然の中に、なにげなくたずむ石仏や数多くの民話が残されており、素朴な「まんだらの世界」が広がっています。



作谷沢地区

## 子安明神

Koyasu-myojin



子安明神

子安神というのは、子育ての神で、子授けから乳の出を祈ることなどまでを含め「子安さま」と呼ばれています。

## 身代わり地蔵 Migawari-jiizo

昔、ある家のいりから夜中に火が燃えだしました。しかし、ふしぎなことに、いろいろのふちをこがしただけでひとりで消えていました。次の朝、気がついた家の人は、「お地藏様が守ってくれたに違いない」と地藏堂に行ったら、お地藏様のころものすそが、焼けていました。村人たちは、「身代わりになってくれてありがとう」とお参りし、それ以来、「身代わり地蔵」として信仰されるようになったそうです。



身代わり地蔵

## 大黒天

Daikokuten

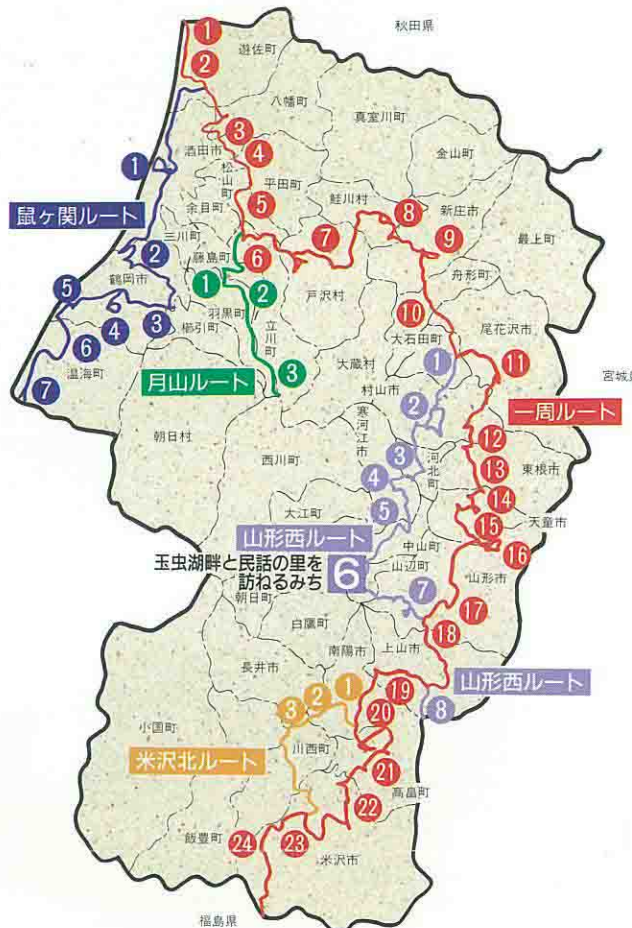
「大黒天」は、幸福と財産を授けてくださるありがたい神様です。作谷沢には、めずらしい形をした大黒天が残されています。



大黒天

# YAMAGATA MAP

東北自然歩道(新・奥の細道)ルート図



## “新・奥の細道”とは

自分の足でゆっくり歩きながら、森や川、野鳥や虫など豊かな自然にふれあい、また、その地域の特色ある文化や歴史と親しむためのみちです。

“新・奥の細道”は正式には東北自然歩道といえます。この自然歩道は、一日で歩ける程度の遊歩道を1つのコースとして、コースの間をバスなどでつなぎながら東北を一周する長距離自然歩道です。そして、この道は福島県白河を起点とし、宮城、岩手、青森、秋田、山形の順で経由して福島県郡山に至るルートになっています。

また、この“新・奥の細道”は東北を一周するルートの他に、景観の優れた地域や名勝地等に向かうルートがあります。県内でも、月山ルート・鼠ヶ関ルートなど4つのルートがあり、山形県内のルートをあわせた総延長は45コースで469kmとなっています。

この“新・奥の細道”を楽しむために

1. コースのみどころ、地形、距離をあらかじめ調べて、余裕のある日程を組みましょう。
2. 歩きやすい服装で、荷物は最小限にとどめましょう。
3. 天気予報に注意して、天気のいい日を選んでゆっくり歩きましょう。

この3つを守り、友人と、家族と、さあ出発!

## おねがい

- ・ゴミは捨てないで持ち帰りましょう。
- ・たばこの投げ捨てや、山火事には十分注意しましょう。
- ・案内板や休憩所はみんなのもので、大切にしましょう。
- ・美しい自然は、人間だけのものではありません。草花や虫たち、小鳥たちのためにも自然を汚さないようにしましょう。
- ・そして、美しい自然を後世まで伝えていきましょう。

このみちは、年金積立金還元融資を受けてつくられました。

## 周辺のアクセスガイド

玉虫湖畔までは  
山辺町作谷沢までは

- ・山形駅からバスで40分。
- ・山形駅から車で30分。
- ・山形自動車道寒河江ICから車で30分。
- ・山形駅からバスまたは車で40分。



観光・宿泊のお問合せ	山辺町観光協会 〒990-03 山辺町大字山辺30	☎0236-25-5200
交通のお問合せ	JR羽前山辺駅 〒990-03 山辺町大字山辺 山形交通バス案内センター 〒990 山形市香澄町3-2-1	☎0236-64-5055 ☎0236-32-7272
コースのお問合せ	山辺町企画開発課 〒990-03 山辺町大字山辺30 山形県環境保護課 〒990 山形市松波2-8-1	☎0236-25-5204 ☎0236-30-2207

表紙の写真は、玉虫沼